広報　ぼし

キラキラ☆たまみず

平成28年9月20日　発行［玉水まちづくり協議会］
第45号

発行責任者：会　長　前　岡　弘　國
連絡先：☎・Fax（079）506－3163

城北畑小学校の子どもたちを対象に［夏休み広場］開催される

《7/22（金）、27（水）、8/5（金）、10（水）》

今年度も、小学校の夏休みを活用して、「夏休み広場」が開かれました。今年で３回目となる「夏休み広場」とは、希望する小学生を対象に、夏休みの宿題や読書感想文、習字などの学習を進める取り組みです。

７０名余りの子どもたちが玉水会館に集まり、鳳鳴高校生や元教員、ＰＴＡ役員さんなどの方々に教えてもらって、楽しく学習することができました。

子どもたちは、ふだんなじみのない鳳鳴高校生や地域の大人の方々に教えてもらっています。

「夏休み広場」の良さは、高校生や地域の大人の方々とのふれ合いにあります。

子どもたちにとっては漢字や算数の勉強だけでなく、あいさつや質問の仕方など人として大切なことも学ぶことができました。

また、教える高校生にとっては将来の進路について考える機会となり、彼らや彼女らを見守る大人たちにとっても生きがいを見つめ直す時間を持つことができました。

「ＮＨＫ杯全国放送コンテスト全国大会」に出場した黒田　楓花さんと、奥村　美紗葵さんによる朗読に聞き入る子どもたち。

今回は、鳳鳴高校の放送部員２名の方に来ていただき、朗読を聞かせてもらいました。

実は、このお二人は、「放送コンテスト」の全国大会に出場したスーパー高校生なのです。子どもたちにとっては国語の音読に過ぎないないのかも知れませんが、声の大きさや読む速さ、抑揚など場面に応じた読み方やその表現力には感心しました。

今後の更なるご活躍を願っています。

読書感想文と習字

夏休みの宿題の中でも、読書感想文と習字は子どもたちは苦労するようです。

そこで、「夏休み広場」でも、読書感想文の書き方を教えたり、習字は一人一人の課題に合わせた手本を用意したりと、子どもたちの希望に合わせた環境を整えました。

一画、一画集中して、ていねいに筆を運んでいます。そのできばえに、子どもたちも満足でした。

［四苦八苦しながらも、読書感想文に取り組みました。］

また、最終日（8/10）には、篠山デカンショ節保存会の梶谷 郁雄様と鳳鳴高校のデカンショバンドの生徒さんをお迎えしました。デカンショについてのお話を聞いたり、デカンショバンドの演奏で踊ったりして、篠山の文化だけでなく、保存会の方や生徒の皆さんとふれ合い、貴重なひとときを過ごすことができました。

［デカンショ節の歌詞に込められた願いを知りました。］

三味線や太鼓、尺八などの和楽器で構成された「鳳鳴高校のデカンショバンド」の皆さんです。歌い手さんも高校生で、上手な演奏に聴き入りました。

キラキラ城北納涼まつり

7月31日(日)

［おいしいピザができました。］

まちづくり協議会の新しい取り組みとして実施しました。

竹工作やピザ作りをやりたい人が集まって、計画から準備、活動はもちろん後片付けまでを行いました。もちろん、ピザを焼く窯も、地元の方の手作りです。

大人も子どもたちも、竹を使っての箸を一生懸命作りました。そして、ピザの生地はお父さんやお母さんの手で、子どもたちがその生地に飾り付けました。一人で２枚も３枚も食べた子もあり、体も心も満足感で一杯になりました。

●参加された子どもたちや保護者より、感想を寄せていただきました。

「キラキラ城北納涼祭りに参加して」

今回、初めて開催されるイベントに、"どんなお祭りなんだろう"と、家族でワクワクしていました。

当日、玉水会館前に集合し、開会式後、城北まち協やボランティアの方々の丁寧なご指導のもとに竹の箸作りを行いました。大きな竹を子どもたちが一人ずつノコギリで切るところから始まりました。それを割り、細い竹の棒にして、削って箸の形に整えました。

最初はぎこちない手つきでしたが、教えてもらううちに要領を得て、だんだん箸らしくなりました。子どもだけでなく、大人も無心で削っておられる姿が印象的でした。

「箸、完成させな、お昼、食べられへんで！」

「もう少し、先とがらせた方がいいかも。」

などと、みんな楽しく話しながら、世界に一つだけの素敵な箸を完成させました。

キラキラ城北のうりょうまつりは楽しかったです。自分たちで作ったピザがおいしかったです。ピザを作るのも楽しかったです。

竹工作のおはし作りは、上手に作れました。家で使ってみるとすごく使いやすかったです。［参加した児童より］

次に、手作りの石窯でピザを焼きました。子どもたちが「なかよし農園」で栽培した野菜を思い思いにトッピングし、大人の方の手で焼いてもらった手作りピザは、本当においしかったです。

［参加された保護者より］

なかよし農園で、トマトやいろいろな野菜を植えました。トマトのなえを黒いカップから出すときがむずかしかったです。

楽しかったことは、みんなで竹を切りに行ったことです。これからの楽しみは、野菜が大きくなることです。

それらの野菜を使って、ピザやデザートなどを作りたいです。おいしく育ったらいいなと思いました。

［農園作業に参加した児童より］

玉水会館の利用者を対象にした 防火講習会 行われる

8月20日(土)

篠山市消防本部の中澤（こわ） 公平様を講師に迎え、火災の予防や消火器の使い方、煙の怖さなどについて学びました。

［家庭の火災予防のポイント］

- 住宅用火災警報器を寝室につける。
- 消火器を備えて、効果的に使用する。
- 電気コンセントにほこりがついていないか点検する。
- 古い扇風機の使用には十分気をつける。などなど。

続いて、水消火器を使っての消火練習と煙体験がありました。

- 玉水会館での訓練は、利用場所での訓練として適している。
- 水消火器は全員が体験できるので、実践につながる。

という参加者の声がありました。

［大変熱心に学ばれていました。］

今日の講習会を終えて、「何回も参加することで身につきます。」という声を聞きました。機会がありましたら、ぜひ参加してほしいと強く思いました。

●季節外れですが、5月15日（日）に行われた**クリンソウ散策登山**で感動したクリンソウ群をお届けします。前号は白黒でしたので、その見事さをお伝えできませんでした。今年見に行けなかった方は、来年度をお楽しみに。

［見事に咲いたクリンソウ群。］

70歳以上の方（一人暮らしの方は65歳以上の方）が対象の

☆たまみずサロンのご案内

今年度も、下記のようなプログラムで開催いたします。
たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

１２月２日（金）
10:00 ～ 14:00
於：玉水会館

1．歌　たまみず幼稚園児のみなさん
2．バルーンアート　江坂 道雄さん
3．楽しいマジック　西井 喜代治さん
4．体操とゲーム

●参加費－５００円（お弁当代）、付き添いの方でお弁当がいる方も必要です。
●別紙の参加申込書を<u>10月３１日(月)までに</u>ご提出下さい。
●くわしくは、別紙をご覧下さい。

地区紹介　大熊地区

義経伝説の残る大熊村

［薬師如来が祀られた薬師堂］

大熊には、♪笛吹山の朝日子に　豊の千町田春笑みて・・・♪と、以前の城北小学校校歌に歌われている笛吹山があります。

かつて源 義経が一ノ谷へ向かう途中、この山にあった瑠璃寺（本尊：薬師如来）で戦勝祈願したと伝えられ、その後も多くの参拝者がありました。

［多数の方々が集（つど）い、お話の花がたくさん咲いた納涼大会になりました。］

現在は、今の場所（集会所の隣）に薬師堂が移築されて、村人が集うコミュニティーの場となっています。

毎年２月１１日の「おとう（行事）」には、子宝を授かるお薬師さんへ村内外から多くの参拝者があります。

今年の夏は、この薬師堂前の広場で、今は大熊を離れて暮らしている人達も多数参加して楽しい納涼大会をし、親睦を深めています。